

■ 工事の遅れが生じないようにスケジュールを管理する「工程管理」について学びました。



無駄なく、効率よく作業が進むように工程表を作成し、予定とずれが生じないようにスケジュールを管理する工程管理について、グループワークを交えながら学びました。

1 日時 令和6年8月2日（金）13：30～16：30

2 場所 ライブ配信

3 対象者 岐阜県内に本店が所在する建設関連企業の社員
（部長級以下、監理・主任技術者、現場代理人等）

4 参加者 26社 37名

5 内容	時 間	研 修 内 容	講 師
	13:00～13:30	（受付）Zoomの設定や操作について説明があります。13時20分までに接続してください。	
	13:30～16:30	1) 工程管理の概要 ・工程管理の目的と意義 ・工程管理に関する演習 2) 各種工程表の作成演習 ・各工程手法の利点と欠点 （バーチャート、グラフ式行程表等） ・最良の工程管理を学ぶ（山積み・山崩し法） 3) ネットワーク工程表の演習 ・工費＆工期について	（株）トライアングルトラスト 松谷 孝広 氏（技術士）
	16:30	閉講	

6 主催 建設ICT人材育成センター（（公財）岐阜県建設研究センター内）

7 CPDS 3ユニット（認定講習）

8 受講者の感想

- ・現場に沿った解説で分かりやすかった。
- ・工程管理のメリットについて、共感する事が多く改めて理解することができた。
- ・講師の経験談があり、参考になった。
- ・バナナ曲線工程表は長年現場監督をしているが一度も作成した事がないので役に立った。

以上